

平成 28 年 2 月 24 日

各 位

会 社 名 オンコリスバイオフーマ株式会社
代表者名 代表取締役社長 浦田 泰生
(コード番号：4588)
問合せ先 常 務 取 締 役 六反田 靖
管 理 担 当
(TEL.03-5472-1578)

腫瘍溶解ウイルス OBP-301 (テロメライシン®) と抗がん剤併用療法に関する 欧州における特許査定発行のお知らせ

オンコリスバイオフーマ株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:浦田泰生)は、当社が開発を進めるOBP-301(テロメライシン®)と抗癌剤併用療法に関する欧州特許出願が特許査定を受けましたので、下記の通りお知らせいたします。

今回特許査定を受けた欧州特許は、OBP-301(テロメライシン®)と抗癌剤(トポイソメラーゼI阻害剤及びINGN-201(Adeno-p53を含む))との併用療法に関するものです。これらの抗癌剤との併用により、OBP-301の臨床での治療効果が更に高められることが期待されます。

OBP-301(テロメライシン®)はヒトアデノウイルス5型のE1領域にテロメラーゼプロモーター(hTERT)を組み込んだ制限増殖型の腫瘍溶解ウイルスです。OBP-301(テロメライシン®)はテロメラーゼ活性が上昇している癌細胞の中で特異的に増殖し、癌細胞を溶解させますが、正常細胞中での増殖能力は極めて弱く、細胞毒性を示さないことが特徴です。臨床では、主に腫瘍部位への局所注入による治療を行い、テロメライシン®の持つ癌特異性を発揮し、更に腫瘍溶解作用に基づいて癌特異的免疫作用を活性化することによって、その作用を増強させることが期待されております。

当社は、標準治療が無効となった肝細胞癌患者を対象に、テロメライシン®の安全性と薬物動態、及び探索的有効性を評価することを目的としたPhaseI/II試験を、2014年11月より台湾・韓国にて実施しています。また、食道癌患者を対象に、放射線治療とテロメライシン®の併用療法の安全性と探索的有効性を評価する臨床研究を、2013年11月より岡山大学にて実施しています。

当社は、今後も高い医療現場ニーズを充足するために、テロメライシン®の開発促進及び知的財産権強化を図って参ります。

なお、本件による本年度業績への影響はありません。

以上